

9月19日、虎姫文化ホールでパネルディスカッション『ようこそ先輩』を開催しました。虎姫高校を卒業され、様々な分野で活躍されている、上野賢一郎さん(36回卒)、漣千帆さん(57回卒)、前川展廣さん(60回卒)の3名をパネリストとしてお迎えしました。本校PTA会長の宮島正典さんをコーディネーターとして、先輩方の高校時代の思い出や進路決定のきっかけなどについて、ご自身の体験をまじえながらお話くださいました。



受講者の感想は、

「私は自分の限界を自分で決めずに、一步踏み出して挑戦していこうと思いました。ゆるぎない決意があれば人はその目標に向かっていくだけでも成長していけるんだなと思いました。」

「高校生活でしかできないことを、逃げずにやりきりたいと思った。例えば、苦手な教科を避けるのではなく、少しでも努力して知識や力にしていきたい。先輩方の話を聞いて、将来の視野が少し広がった。夢は明確には決まっていなくても、自分の将来の目標をもって高校生活を送りたい。」

「今の時期で勉強したことは、将来の仕事に直接つながるわけではないが、知識やコミュニケーション能力、何かに対する考え方には結びつくとされていて、自分の勉強に対する意識が変わった。」

「友達をきっかけに勉強へのスイッチが入ったということで、やはり、人と人とのふれ合いは大切だと気づき、とても参考になりました。」

など、先輩方のお話から多くのことを学びました。また、生徒たちからの質問にも真摯にお答えいただき、今後の学校生活の過ごし方や、将来の進路について考える良い機会になりました。

